



お 礼 状

栃木県立黒磯高等学校 インターアクト部 様

このたびは、本会の事業にご賛同いただき温かいご寄付を賜り誠にありがとうございます。本会は病気や災害、自死（自殺）で保護者を亡くし、または保護者が障がい働けず教育費に困っている高校生や大学・専門学校生に対し奨学金の給付・貸与等で進学を支援するとともに、小中学生以上の遺児には心のケアを行い、将来、広く人類社会に貢献する人材の育成に取り組んでおります。

遺児家庭の生活は、消費税増額の影響でさらに厳しくなっており、奨学金等による教育支援は依然として必要です。遺児家庭が貧困から脱出するためには子どもたちが教育を受け、自立することです。若者の就職難が続く中、遺児家庭の多くは大学等の高等教育への進学を希望しております。

本会は「教育こそが遺児の未来を切り開く」を理念として、一人でも多くの遺児が希望する高等教育への進学を叶えることができるよう奨学金の充実を図ります。また、遺児が社会に力強く歩み出していけるよう、遺児同士や海外の若者との交流事業や、小中学生遺児・東日本大震災遺児を対象とした心のケア活動にも一層力を注ぎます。海外遺児支援においても、サブサハラ・アフリカの遺児たちが高等教育を受け、自国の発展を牽引するリーダーとなれるよう活動を発展させてまいります。

みなさまのご寄付は奨学金や心のケア活動として遺児の夢や希望になり、世代を超えて遺児たちを支え続けます。今後とも一人でも多くの遺児が夢に向かって人生を歩むことができますよう、ご支援をお願い申し上げます。

2021年05月24日

一般財団法人あしなが育英会

会 長 玉 井 義 臣

ASHINAGA
あしなが育英会